

文部科学省「令和3年度 大学の世界展開力強化事業」採択事業

## A<sup>3</sup>I : アジア実問題解決駆動 AI 教育プログラム

### 2023年 春・秋 中長期留学 募集要項

#### 1. A<sup>3</sup>I : アジア実問題解決駆動 AI 教育プログラム とは

文部科学省「令和3年度 大学の世界展開力強化事業」に採択された「A<sup>3</sup>I = Asia Applied Artificial Intelligence : アジア実問題解決駆動 AI 教育プログラム」は、山梨大学、杭州電子科技大学(中国)、釜慶大学校(韓国)、ペリス大学(マレーシア)の4大学がコンソーシアムを組み、各大学のAI研究・教育の強み、産業界との連携ネットワーク、地域の実践フィールドを活用することで、アジア諸国との架け橋となり、Society5.0やDXを牽引するAI人材を育成するプログラムです。また、このプログラムの中にある杭州電子科技大学(中国)、釜慶大学校(韓国)のいずれか1つの大学とのデュアルディグリープログラムに参加・修了することで、2つの大学(山梨大学+1)より学位を取得できます。

#### 2. デュアルディグリープログラムによる交換留学とは

- ・1学期から1年間の期限で、海外交流協定大学と相互に学生・研究交流を行う制度のことです。
- ・山梨大学に在籍したまま留学をするので、本学に授業料を納めれば、留学先の協定大学の入学料、授業料、検定料を納める必要はありません。
- ・このプログラムでの交換留学は①修士デュアルディグリープログラム ②博士デュアルディグリープログラムの2種類があります。デュアルディグリープログラムに参加すると、協定校にて取得した単位を在籍大学・留学先大学双方の単位とすることができます。このプログラムに参加し留学を経ることで、2つの大学の学位を得ることができます。
- ・留学先大学での学位取得のためには、留学先大学の卒業要件を満たす必要がある場合があります。詳しくは、留学先大学にご相談ください。

#### 3. 対象となる協定校 (コース)

国名	大学名	コース	
中国	杭州電子科技大学	Graduate School	College of Computer Science & Technology
韓国	釜慶大学校	Graduate School	Department of Artificial Intelligence Convergence
			Department of Intelligent Robot Engineering
マレーシア	ペリス大学	Master of Science	Embedded System Design Engineering

※ペリス大学は、デュアルディグリープログラムの対象ではありません

#### 4. 応募資格

①2023年度に本学の大学院生で、下記のいずれかを専攻する者

医工農学総合教育部	修士課程	工学専攻
	博士課程	工学専攻

②AI分野の研究をするための基礎が身に付いている者

③原則として、下記いずれかの語学要件を満たす者

- ・TOEIC 600
- ・IELTS 5.5
- ・TOFEL 72

## 5. 留学期間・時期

2023年2月～2023年10月に開始する留学が対象です。

杭州電子科技大学	春学期	2023年2月～2023年6月(5ヵ月)
	秋学期	2023年9月～2024年1月(5ヵ月)
釜慶大学校	春学期	2023年3月～2023年6月(4ヵ月)
	秋学期	2023年9月～2023年12月(4ヵ月)
ペルリス大学	第2学期	2023年3月～2023年8月(6ヵ月)
	第1学期	2023年10月～2024年2月(5ヵ月)

## 6. 募集人数

杭州電子科技大学	若干名
釜慶大学校	若干名
ペルリス大学	若干名

## 7. 申請期限

- ・2022年11月25日(金) (春季)
- ・2023年4月21日(金) (秋季)

## 8. 応募書類

以下の書類を揃え、各大学の申請期限までに国際企画課に提出してください。

- ① 中長期留学 申請書 (様式1)
- ② 中長期留学 志望動機 (様式2) 英語
- ③ 指導教員からの推薦書 (様式3) 英語
- ④ 誓約書 (様式4)
- ⑤ 緊急医療措置同意書 (様式5)
- ⑥ 語学能力を証明する書類 (写)
- ⑦ 成績証明書 日本語1部・英語1部
- ⑧ 健康診断書 日本語1部・英語1部
- ⑨ コロナ禍における海外への渡航について (誓約書)

※釜慶大学校を希望する場合には、以下の書類も必要となりますので、準備しておいてください。提出時期については別途お知らせします。

- 学士卒業証明書 英語 1部
- 修士在学証明書 英語 2部
- 銀行残高証明書 (本人名義、預金残高\$9,000以上) 英語 2部

※ペルリス大学を希望する場合には、以下の書類も必要となりますので、準備しておいてください。提出時期については別途お知らせします。

- 在学証明書 英語 1部

## 9. 選考

- ・「山梨大学留学生専門委員会」にて学内選考を行います。
- ・学内選考により、派遣が決定次第、留学手続きを開始します。
- ・ただし、本学の学内選考に合格しても、以下の場合は派遣を取り消すことがあります。
  - ① 留学希望大学等の入学許可が得られなかった場合
  - ② 留学開始時期（留学先大学により異なる）に応募条件を満たしていない場合
  - ③ 健康を害し留学が困難となった場合
  - ④ 留学希望大学等の募集人員が減った場合
  - ⑤ 交換留学誓約書【様式 4】に記載された事項を守れない場合
  - ⑥ その他、留学が適当でないと認められる場合

## 10. 経費

- ・留学先の協定大学の入学金、授業料、検定料は納める必要はありません。（本学の授業料は納付する必要がありますのでご注意ください。）
- ・渡航費については JASSO（日本学生支援機構）より補助があります。
- ・その他、教材費、生活費等留学に要する全ての経費は、学生本人の負担です。
- ・海外旅行保険については、「学生教育研究災害傷害保険付帯海外留学保険」への加入を必須としています。（参照：「14. 海外旅行保険」）
- ・海外安全危険管理サービス「OSSMA（オスマ）」の加入を必須としています。

## 11. 奨学金

名称	対象・要件	問合せ先	申込方法	備考欄
JASSO（日本学生支援機構） 『海外留学支援制度(協定派遣)』	成績基準、 家計基準あり	国際企画課	留学申請書に 希望の有無を記入	給付型のため、返済は不要です。 別途手続き必要のため、希望者 には国際企画課から連絡します
秋山勝彦グローバル人材育成奨学支援金	成績基準あり	工学域支援課	工学域支援課	詳細・募集時期等は CNS へ掲 示されますので、確認のうえ申請 して下さい
山梨大学海外応援プログラム	成績基準あり	国際企画課	各学域へ申し込み	
JASSO（日本学生支援機構） 『第一種奨学金(海外協定派遣対象)』 『第二種奨学金(短期留学)』	あり	学生支援課	学生支援課	貸与型のため、返済が <u>必要</u> です

## 12. 大学寮

- ・プログラム参加者は大学の寮に居住することができます。（寮費についてはお問い合わせください）

## 13. ビザ

- ・渡航前に、日本でビザの申請を行う必要があります。ビザ申請・取得については各自が渡航先の大使館へ確認し、責任を持って行って下さい。ビザ申請からビザ取得まで、一般的にはおよそ 2～3 か月かかります。

## 14. 海外旅行保険

・交換留学生は渡航先へ入国する際に、有事の際の医療救助や帰国に伴う費用等を補償するための、適切な補償期間・補償内容の保険に加入することが義務付けられています。本学が指定する「学生教育研究災害傷害保険付帯海外留学保険」にてカバーすることが可能ですので、加入してください。

## 15. 履修計画

留学決定後、留学先大学と調整して履修計画を作成します。留学先大学にて取得した単位の認定については留学決定後、追って連絡いたします。

## 16. 危機管理

・危機管理や事前準備に関する研修として、全学共通教育科目・人間形成科目の集中講義「海外で学ぼう－海外研修・交換留学 gateway I 又は II」を聴講していただきます。

・留学中は月 1 回の「マンスリーレポート」の提出が必須です。

※新型コロナウイルス感染症に伴う海外渡航について；

本学では「山梨大学における国際交流等に伴う危機管理マニュアル」（以下、「危機管理マニュアル」という。）に基づき、国際交流や海外渡航等に伴う危機管理対応の基本が定められています。

現在、新型コロナウイルス感染症の世界的感染の影響を受け、外務省海外安全ホームページにおいて、ほとんどの国・地域が感染症危険情報「レベル 3」と設定されており、本学の「危機管理マニュアル」では「レベル 3」は「中止または途中帰国させる」の対応をすることと定められているため、本学在学生の海外渡航はさせられないこととなっております。今後、外務省の感染症危険情報レベルが下がった場合、本学の派遣プログラムを再開することとしています。レベル 2 以下の国・地域への留学については、学生本人からの強い留学希望があった場合、別添の「コロナ禍における海外への渡航について（誓約書）」に記載の事項を承諾・遵守し、誓約書（保護者および指導教員の署名が必要）を提出することにより許可する場合があります。詳しくは、国際企画課にお問い合わせください。

## 17. プログラムの中止・中断

不測の事態等による派遣の中止・中断 交換留学への参加を辞退する場合、またはテロ・自然災害、感染症・疫病の流行等の不測の事態が発生し、大学の判断で派遣を中止・中断する場合は、理由を問わず、派遣前・後に発生した一切の費用（キャンセル料や、中断の場合の帰国旅費を含む）は参加学生個人が負担し、大学には請求できません。

## 18. この留学に関する問い合わせ

国際企画課（B-1 号館 2 階 225） 開室時間 8 時 30 分～17 時 15 分

メールアドレス：[a3i-as@yamanashi.ac.jp](mailto:a3i-as@yamanashi.ac.jp) 電話番号：055-220-8703

A3I ホームページ <https://a3i.yamanashi.ac.jp/>



## 19. 留学先大学の紹介

### 杭州電子科技大学 Hangzhou Dianzi University (HDU) [中国 浙江省 杭州市]

杭州電子科技大学は、1956年に中国浙江省の杭州市に設立され、2015年4月に浙江省重点大学に選ばれた公立大学です。学部では57、大学院では70のプログラムを提供しており、28,000人の学生が学んでいます。理学・工学・管理学・文学・法学・教育学等の多くの学科を総合的に発展させている研究型大学として高い評価を得ており、特に電子情報分野においては、常に中国国内で高いランキングに入っています。

大学ホームページ：<http://www.hdu.edu.cn/>

学年歴（参考）：<http://www.hdu.edu.cn/en/5130/list.htm>

留学に関して：<http://sie.hdu.edu.cn/>

### 釜慶大学校 Pukyong National University(PKNU) [大韓民国 釜山広域市]

釜慶大学校は4つのキャンパスに25,000人の学生を擁する韓国の大模大学です。61カ国376大学と覚書を締結しており、最近の5年間で1,371人の学生を派遣、841人の学生を姉妹校から受け入れています。ヨンダンキャンパスは、2015年度から企業に全面開放されて、「ドラゴンバレー・キャンパス」と呼ばれ、AI、IoT、ヘルスケア分野に特化した341社が居住する韓国東南部地域の産学連携拠点として注目されています。

大学ホームページ：<https://www.pknu.ac.kr/eng>

A3I ホームページ：<http://a3i.pknu.ac.kr/eng/>

学年歴（参考）：<https://www.pknu.ac.kr/eng/17>

留学に関して：<http://admission.pknu.ac.kr/>

### ペルリス大学 Universiti Malaysia Perlis(UniMAP) [マレーシア ペルリス市]

ペルリス大学は、2001年にマレーシアで17番目の公立高等教育機関として設立されました。地域を代表する工学系の大学として、特にエレクトロニクスとIR4.0、AIの教育に重点をおき、地域の電子およびITの発展を牽引してきました。ペルリス大学には山梨大学で学位を取得したOB・OG計6名がAIおよびロボティクス分野の教員として活躍しています。

大学ホームページ：<https://www.unimap.edu.my/index.php/en/>

学年歴（参考）：<https://www.unimap.edu.my/index.php/en/campus-life/reference/academic-calendar>